

論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 3011 号	氏 名	太田 真里絵
論文審査担当者	主査 本田 一穂 教授 副査 松山 高明 教授 副査 角田 卓也 教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>本論文は、自閉症スペクトラム障害(Autism spectrum disorder: ASD)における人物動画に対する視線を計測し、視線計測が ASD 患者の生物学的指標となるかどうか検討を行ったものである。</p> <p>健常群および ASD 群(各々15 人)に対し、推定知能指数(JART25)、自閉症症状評価尺度(AQ)、ADHD 症状評価尺度(CAARS)を施行し、人物の顔が大きく映し出されている動画刺激を用いて視線計測を行った。</p> <p>その結果、健常群の注視時間と比較すると、ASD 群においては、目に対する注視時間は有意に短く、口に対する注視時間は有意に長かった。</p> <p>また、ASD 群においては、口に対する注視時間は、目、背景より有意に長く、また体に対する注視時間は、背景よりも有意に短かった。健常群では目に対する注視時間は、口、体、背景と比較して有意に長く、背景に対する注視時間は、口、体と比較して有意に短かった。</p> <p>今回の知見により、成人期の ASD においては、人物に対する注視点に特徴的な傾向がみられることが示され、今後診断する際の客観的な指標となり得る可能性があることを示された。</p> <p>以上の結果より、本論文は学術的にも価値が高く、学位論文に値するものと判断した。</p> <p>論文題名：ASD における人物動画に対する視線計測</p> <p>掲載雑誌名：精神科 第 26 巻 第 2 号 2019 年 掲載予定</p>			

(主査が記載、500 字以内)